

ボイラー設置届

様式第11号(第10条関係)

① 事業の種類	事業場の名称	事業場の所在地			
	電話 ()				
使用の目的					
ボイラー室	② 位置	一階	地階	二階	その他
	③ 構造	木造 鉄筋コンクリート造	鉄骨造 その他	床面積	延 m²
	④	ボイラーの外側と天井(天井がない場合は屋根裏)との距離 m		⑤	ボイラーの外側とボイラー室の壁との間の最短距離 m
	⑥ 出入口の構造	外開き 戸式	出入口の数	外開き 戸式	
	⑦ 燃焼室炉壁の構造	普通れんが壁 空冷れんが壁 水冷	⑧ 燃焼方式	手だき ストーバ ーナ燃焼	
⑨ 燃料	石微重ガソ 粉の炭炭油ス他	給水装置	種類	給水能力	数
				ton/hr	
				ton/hr	
				ton/hr	
⑩ 給水加熱器	有 無	⑪ 連続ブロー装置	有 無		
⑫ 自動制御方式	全燃そ 自動燃の 動系他	⑬ 自動制御装置	低水位燃料遮断装置 燃焼安全装置 低水位警報装置 その他		
⑭ 空気予熱器	有 無	煙 突	⑯ 構造	口径	高さ
⑮ ストレージタンク	有 無		鋼板製 鉄筋コンクリート製 その他	m	m
設置工事を行う事業場の名称(電話番号)及びその所在地	名称 所在地		電話番号 ()	据付工事作業主任者の氏名及び講習修了証の番号	氏名 番号
設置工事落成予定年月日	年 月 日				

年 月 日

事業者職氏名



労働基準監督署長 殿

備考

- 1 ①の欄は、日本標準産業分類の中分類により記入すること。
- 2 ②、③及び⑥から⑯までの欄は、該当する事項に○印を付すること。
- 3 ⑤の欄は、本体を被覆したボイラーについては、記入する必要がない。
- 4 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。